

# 異国の美人剣士たち

21世紀のこの世において、武士道の精神を受け継ぐのは、何も日本人だけではない。世界各地で「KENDO」「BUSHIDO」を  
探求する異国の剣士たちが、5月29日より開催された「第16回世界剣道選手権大会」に集った。白熱の会場から、真剣勝負にのぞむ美しき女剣士たちの姿をお届けしよう。



イギリス ● ジェニー・ナッシュ選手

NASH

# 異国の美人剣士たち



ドイツ ●リッサ・マインベルク選手

ここは剣道の聖地・日本武道館。1970年以來3年おきに世界各地で開催されてきた世界大会が、45年ぶりに聖地に戻ってきた。

「17カ国が参加した第1回大会から45年。今大会では過去最多の56カ国・地域にまで増えました」(大会関係者)

現在、260万人とされる世界の剣道人口のうち、日本だけで160万人余り。続いて50万〜60万人の韓国、1万人のフランスとは、未だに大差がある。今大会も、男女の個人・団体戦とも日本勢

が優勝、圧倒的な強さを見せつけた。

しかし、国内の剣道人口は減少から横ばいの苦境にあり、外国勢の存在感は年々増している。韓国、台湾、中国などアジアの近隣国の他、アメリカ、ブラジルなど日系移民から普及した国、ヨーロッパを中心に日本文化への関心が強い国など、伝わり方も地域も様々だが、竹刀を交える姿に国境はない。心身の鍛錬を積んだご覧の美人剣士たちの凛々しさに、思わず背筋が伸びるのだ。

撮影・土居誉



ポーランド ●アガタ・ジョムコフスカ選手



ブラジル ●ララ・タチバナ選手



セルビア ●ティヤナ・チルコヴィッチ選手

シンガポール ●レイナ・チャン選手



フランス ●アリス・ミショー選手



南アフリカ ●カール・ジョベール選手